



及杜ななめ

片想いの
イケメンお兄さんに
カラダも墮とされて
抜け出せません

act. 10



ニフイヤ
Laffiya



— 海外行きの件

白咲様には
お話しに
なつたのですか？



昨日の食事を
途中で抜けられた
のは

彼女に
話をしに行く
ためと思って
おりましたが…



……

私は
てっきり



……いえ
必要ないので



わざわざ
家に来たかと
思ったら

理由は？

海外公演の
話があったの

先方から
それが終わったら
あなたをぜひ婿養子に
とも言われたわ

は…？

このまま復帰する
見込みがないので
あれば

小鳥遊の跡取りは
あなたの妹に譲り

いっそあなたが
他家に入れば
どうかって話が
前から出ていたのよ



どうせ復帰した
ところで
今度は嫁を取れ
とか言われる
だけだろ…

仕方ない
じゃない

身を固めない
限りはずっと
付きまとう問題よ



……吐き気が
する

だから、
条件を出すわ

ラフィヤ

Laffiya

クズでも愛して？

片想いのイケメンお兄さんに
カラダも墮とされて抜け出せません

act.10

著者 及杜ななめ

2026年4月16日 発行

発行所 株式会社アーク・プレス

※本書の一部、あるいは全部を無断で
複写複製(コピー)、転載、上演、放送することは
法律で認められた場合を除き、
著作権の侵害となるため、禁止します。

©Oimori Naname/Laffiya

